

大阪市立総合医療センター

ダビンチ3台、手術中！



大阪市立総合医療センター
Osaka City General Hospital

〒534-0021 大阪市都島区都島本通2-13-22 電話番号 06-6929-1221 <https://www.osakacity-hp.or.jp/ocgh/>

Wao!

Osaka City
General Hospital
Public relations
magazine

ダビンチSP、大阪初導入！



身体への負担や痛みの軽減を可能にする



当院では、2025年1月に手術支援ロボットの最新機種「ダビンチSP」を大阪で初めて導入しました。従来の手術支援ロボットとの違いは、従来型のダビンチXiはアームが4本であるのに対し、ダビンチSPはシングルポート（アームが1本）システムであると言えます。従来のマルチポートシステムでは複数個所必要となる切開創（手術のきず）を1つに減らすことで、より侵襲（身体への負担や痛み）が少なく整容性を向上させたロボット手術が期待できます。さらに、将来はきず無し手術になる可能性があるロボットです。

最新ロボット手術

Oa VINCI SP

ロボット手術は、チーム医療でさらに患者さんに優しく。



最新「ダビンチ SP」の仲間入りで、さらなる最適解を。



ダビンチ SPとダビンチ Xiは1本のアームと4本のアームの違いがあります。どちらも医師の手の延長で先端が小さい物であることは同じで、ミリ単位の正確な手術が可能です。それぞれに強みがあり、患者さんの症例に合わせて使い分けることで最適な選択が可能になります。

2015年からのロボットによる低侵襲手術実績は、私たちの誇りでもある。



ダビンチ・ロボット手術とは。

ダビンチは、アメリカで開発された最新鋭の内視鏡手術支援ロボットです。このロボットは外科医が行う腹腔鏡手術を支援するシステムです。患者さんの身体に開けた小さな切開創（手術のきず）から手術器具を取り付けたロボットアームと内視鏡を挿入し、医師がサージョンコンソールと呼ばれる操作ボックスの中で内視鏡画像を見ながらロボットを操作します。



ロボット手術のメリット

身体への負担が少ない（低侵襲性）

従来の手術（お腹や胸を切る手術）に比べ、ロボット手術はきずが小さいため、痛みが軽く、整容性に優れています。身体の中の負担も小さくできるため、術後の回復が早く、手術時間の短縮や合併症の低減が期待できます。

機能性

ロボット特有の機能により、人間の手ではできない極めて繊細な作業も可能になり、より患者さんへのダメージの少ない治療や、これまで不可能だった治療が可能となります。



ダビンチ SP

ダビンチSPはシングルポート（アームが1本）システムです。従来のマルチポートシステムでは複数個所必要となる切開創を1つに減らすことで、より侵襲（身体への負担や痛み）が少なく整容性を向上させたロボット手術が期待できます。

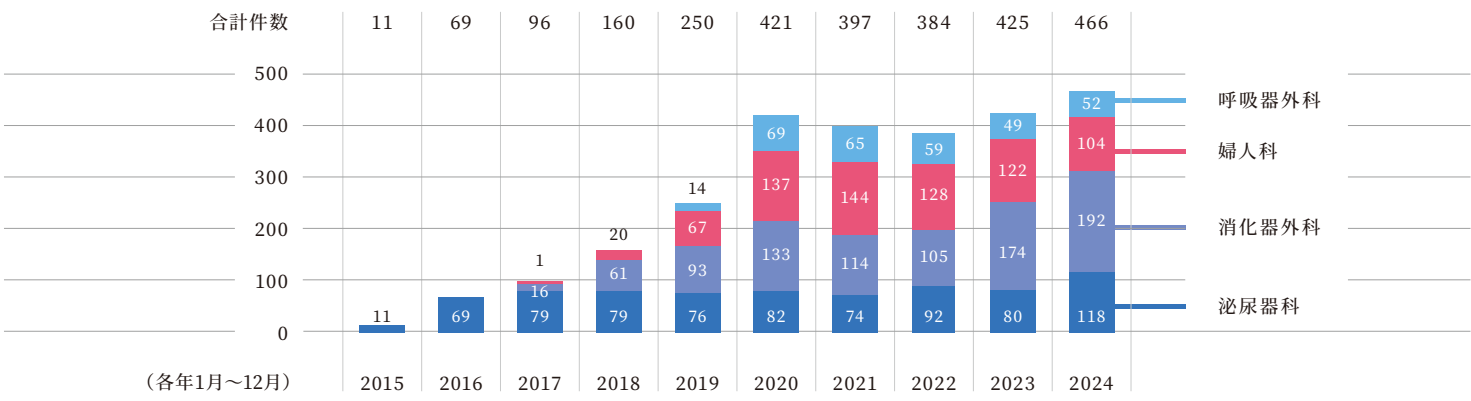


ダビンチ Xi

ダビンチは米国インテュイティブサージカル社が開発した手術用ロボットで、ダビンチXiは第4世代にあたる最新鋭機です。拡大視野で精密な切除が可能であるため、正確な患部の切除が可能と言われています。



当院のロボット手術件数の推移



Create Future Healthcare
大阪から未来の日本の医療をリードする

ダビンチ特設サイト

<https://www.osakacity-hp.or.jp/ocgh/kaisetsu/davinci.html>

